

組織統合・サービス統合の先にあるもの：経営管理の視点から

慶應義塾大学

国際センター

事務長 加藤 好郎

はじめに

- 大学の使命とは
文明の継承、知的生産、人格の陶冶
- 今、大学に求められているものとは
教育支援、研究支援、社会貢献
- 私学助成の充実
申請A:社会のニーズに応える教育の促進、
申請B:個性豊かで多様な教育の促進、
申請C:教育研究活動の高度化・拠点の形成

大学図書館の社会貢献の実際

- 地域開放・地域連携
会社員・自営業の学外利用者への開放。高校生対象の図書館見学。図書市民利用制度。一般に全開放。県立図書館との連携。区立図書館との連携等。
- 資料のデジタル化による公開
郷土資料の電子化・公開。池田家文庫絵図のデジタル化によるインターネットでの閲覧化。阪神・淡路大震災に関する資料の収集とデータベース化。幕末・明治期の日本古写真コレクションのデータベース化。北方資料のデータベース化やアイヌ民謡の電子情報化等

機関リポジトリとは

- レイム・クロー(SPARC上級顧問)の定義: 大学コミュニティの知的生産物
- クリフォード・リンチ(エルゼビアITソリューション担当)の定義: デジタル資料の管理発信
- 設置目的
 - 大学からの研究成果(情報)等の発信
 - 電子情報の長期保存
 - 学術コミュニケーションの構造改革

OCLC (Digital Collection Service)

- Institutional Repositories- status
 - 37 ARL institution(30%) had an operational
 - 31(35%)were planning by 2007
 - 19(22%)had no IR plan
- Survey 446 large academic institutions
 - 236(52.9%)none
 - 92(20.6%)planning only
 - 70(15.7%)actively planning and pilot test
 - 48(10.8%)have implemented an IR

- Institutional repositories-status
 - Most contributions come from faculty and graduate students
 - Only 4 operational IR's had more than 5000 items
 - Most IR's held less than 1000 items
- Responsibility primarily in the library
- Funding primarily from the library

図書館経営の基本原則

- 1 図書館経営の理念は、利用者が必要とするサービスと情報の提供
- 2 図書館経営の基本は、サービスの先取り
- 3 図書館経営には、サービスの提供に課金することも必要
- 4 図書館経営には、費用対効果と費用対便益を常に測定
- 5 図書館経営において、資料価値と購入額は比例しない
- 6 図書館経営において、目的達成には、事業の進捗状況の点検が必要
- 7 図書館改革にはそのタイミングが重要
- 8 図書館経営を充実させるためには、競争から生じる協力が不可欠

図書館経営の基本原則

- 9 健全な図書館経営には、恒常的なマーケティングが不可欠
- 10 図書館経営を充実させるためには、新しいサービスの構築の際、常にサービスのライフサイクルを意識
- 11 図書館経営は、利用者(消費者)、業者(書店等)、図書館員との有機的で信頼に基づく連携により成立し相互に成長
- 12 本来、図書館経営は、多くの研究者の研究活動支援と図書館員養成を実現する
- 13 図書館経営には、常に、図書館は民主主義の基本であるという概念が不可欠
- 14 図書館学は実学であり、図書館経営は、まさに、実学の実践

By Yoshiro Kato, 2005

大学図書館のリエンジニアリング

- 経営とは「目標を達成するために、経営資源（資金、人的資源、物的資源）を適正に配分し、合理的に運用していくこと」
- 業務目標の明確化
- タスクフォースも含めた組織形態
- 組織構築と意識改革（リエンジニアリング）
- 現状の業務分析
- フラットな組織におけるベンチマーキング

大学図書館における人的資源管理

- 経営戦略と人的資源管理はコインの裏表
人材は最大の資源である
経営理念に「個」の概念があるか否かで、企業は伸びるか失速するかが決まる
「個」の有効活用、開発、機能
- 組織の期待のもとで、図書館員が自主的・自律的に伸び伸びと活動⇒キャリア形成、専門職としての位置付け、将来の自己実現の可能性の拡大⇒「仕事が面白ければ人生は楽しい」

おわりに

- 大学図書館の10機能
 - 1 University Librarian
 - 2 Bibliographer
 - 3 Archivist
 - 4 Curator
 - 5 System Librarian
 - 6 Electronic Librarian
 - 7 Digital Librarian
 - 8 Cataloger
 - 9 Reference Librarian
 - 10 Serials Librarian

By Yoshiro Kato, 2007